

第77回文化庁芸術祭賞

「生涯野球監督 迫田穆成～終わりなき情熱」

ラジオ部門大賞 受賞

第77回文化庁芸術祭賞ラジオ部門で、RCCラジオが制作・放送した『生涯野球監督 迫田穆成～終わりなき情熱』（2022年11月27日(日)20:00～21:00放送)が、大賞を受賞しました。

これは、6歳で被爆し、広島商業時代に甲子園制覇。同校監督として1973年に優勝。当時あの怪物といわれた江川投手を2安打で攻略して名将と称され、83歳の今もなお、生徒数150人の県立竹原高校野球部を指揮する、迫田穆成（さこだ・よしあき）さんの姿を描いたドキュメンタリー番組です。審査では、「迫田監督の人生をスリリングに描き、参加番組の中で特に引き込まれた。彼の卓抜とした世界観、野球観を巧みな構成と編集で描いた傑作。」と評価されました。再放送は、2023年1月1日（日）19:00～20:00を予定しています。

受賞番組：生涯野球監督 迫田穆成～終わりなき情熱

放送：2022年11月27日(日)20:00～21:00

ナレーション・取材・構成：坂上俊次（RCCアナウンサー）

ディレクター：角 賢直（RCCフロンティア）

技術：黒元 敬太（サウンドオフィスクロスロード）

プロデューサー：増井 威司



内容：83歳にして現役の高校野球の監督を続け、ユーチューバーにも挑戦する迫田穆成さん。

広島商業高校に入学し、主将として甲子園全国制覇。その後、同校監督に就任し、1973年春準優勝、同年夏優勝を飾り、選手、監督で全国制覇という快挙を達成した名将だ。

迫田さんは6歳の時に被爆しており、その翌日には弟を亡くしている。父も被爆して髪や歯が抜け、長く高熱にうなされ、近所の人たちもどんどん死ぬ中、不安な戦後を生き抜いた。その少年が、戦後初の広島勢優勝を飾り、原爆被害からの復興過程にあった広島の人々を大いに勇気づけた。83才の今もなお、現役監督として瀬戸内海の小さな県立竹原高校を指揮し、ベスト16に導いた迫田さん。その情熱あふれる挑戦を追った。

